

平成28年度

優れた教育活動表彰

1 学校（14校）

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
大田市立北三瓶小学校	梅 田 英 樹	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種に指定されている「オキナグサ」の保護活動を通じた地域との連携に取り組んでいる。 ・保護活動を通して学んだ成果を地域の文化祭で発表するなど地域に還元している。
安来市立十神小学校 安来市立社日小学校 安来市立島田小学校 安来市立赤江小学校 安来市立第一中学校	松 下 誠 田 中 量 雄 荒 金 修 足 立 智 美 秦 誠 司	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校やいじめの未然防止のための調査研究事業を安来市立第一中学校区内の小中学校が連携して実践した。 ・授業を通じた「集団づくり」により、児童生徒の一体感の高まりや中学校の不登校生徒数が減少するなどの成果を上げた。
安来市立広瀬小学校	福 井 昭 二	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の視点を取り入れた研修会などを家庭・地域と連携して取り組んだ。 ・6年生を中心とした異学年交流（なかよし班での活動）をする中で、他を思いやる心の育成に取り組んだ。
津和野町立日原小学校	城 市 玲 子	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を授業の中で活用するなど、学校図書館活用教育を継続的に実践している。 ・加えて、最新の ICT 機器を使った授業を取り入れ、児童の読解力や情報活用能力を高める研究に取り組んでいる。
浜田市立弥栄中学校	郷 原 正 継	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の読書機能や情報機能を充実させるなど、学校図書館活用教育に力を入れてきた。 ・加えて、平成27年度からは授業公開を計画的に行い、学校図書館を活用した授業などの研究を積み上げ、その取組をHP等で情報発信している。
益田市立匹見中学校	前 田 慈 史	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、小学校と連携して、地域の特産品である「わさび」栽培を題材にしたふるさと教育を実践している。 ・また、姉妹都市である「高槻市」で「わさび」を販売するなどの体験交流を実施した。
雲南市立海潮中学校	廣 中 敏	<ul style="list-style-type: none"> ・平成3年度から地域の伝統芸能を継承する「神楽部」を創設し、年間を通じた活動を展開している。 ・地元の神楽社中の協力を得ながら、地元の伝統芸能の継承者としての誇りとやりがいを感じながら取り組んでいる。

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
島根県立出雲工業高等学校	伊 藤 篤	<ul style="list-style-type: none"> • 高度熟練技能者から技術指導を受けるなど、地元企業と密着した取組を行っている。 • 平成19年度から他校に先駆けて地元企業約30社を招いた学校単独の企業説明会を開催している。
島根県立出雲農林高等学校	佐 藤 睦 也	<ul style="list-style-type: none"> • 実習施設で飼育されている動物を「ふれあい動物園」として地域に開放している。 • 地域に出向く「移動動物園活動」を年間20回以上開催するなど地域住民の動物とのふれあいの場を提供している。
島根県立出雲養護学校 邇摩分教室	原 田 雅 史	<ul style="list-style-type: none"> • 邇摩高校の生徒とともに共同学習する「プロジェクト邇摩高」を平成21年度から実践している。 • 分教室の教職員が、邇摩高校で支援が必要な生徒に対する支援計画策定の指導を行うなど、「共生・共育」の更なる取組が期待される。

(注) 上記の掲載順は、小・中・高・特別支援学校、かつ建制順による。

2 団体（4団体）

団体名	代表者職・氏名	表彰の理由
奥出雲町小学校自然体験活動実行委員会	奥出雲町立亀嵩小学校 校長 飯塚 頼寿 奥出雲町立八川小学校 校長 岸本 康宏	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度から町内10校の5年生を対象として、地元キャンプ場を利用した2泊3日の自然体験活動を実施している。 ・中学校生活にスムーズに繋げる役割と関係者の連携による地域全体でのふるさと教育を推進する取組となっている。
島前小学校体育連盟	海士町立福井小学校 校長 永海 尚二	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハードル走」をテーマに陸上指導の研究を行っている。 ・地理的なハンディキャップを乗り越え、各小学校の体育主任を中心に精力的かつ組織的に連携し、指導の充実に向けた実践を行っている。
隠岐郡小中学校教育研究会社会科部会	隠岐の島町立西郷中学校 教頭 吉田 貴弘	<ul style="list-style-type: none"> ・H17年の竹島の日条例制定から、竹島に関する学習の充実を継続して実践している。 ・隠岐の島町ふるさと学習副教材「ふるさと隠岐」の編集や竹島に関する授業研究会を重ねるなど、竹島に関する学習の充実に大きく貢献している。
隠岐郡小中学校教育研究会養護教諭部会	隠岐の島町立西郷南中学校 養護教諭 吉山美恵子	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和46年度以来、継続的に隠岐郡全ての学校の統計に考察を加えた「健康のあゆみ」を編集、発刊し、地域のデータ集として活用されている。 ・「健康のあゆみ」を使った説得力のある保健指導と養護教諭の連携を実践している。

（注）上記の掲載順は、団体の代表者の所属校の建制順による。

2 個人（12名）

氏 名	所属・職	表彰の理由
かま だ よう こ 鎌 田 陽 子	出雲市立第二中学校 事務リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・H24～27年度までの4年間、島根県公立小中学校事務職員研究会（島事研）の会長として、島事研ビジョン2015の策定や研究大会、セミナーの企画運営など学校事務全般の改善や学校事務職員の資質能力向上に尽力した。
きく ち とも こ 菊 池 伴 子	松江市立法吉小学校 栄養教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省委託事業を積極的に活用し、関係機関、家庭や学校と連携するなど、食育の推進に取り組んだ。 ・栄養士の実習生指導や新規採用栄養教諭の研修講師を務めるなど後進の育成にも積極的に取り組んだ。
くま かい み ち こ 熊 谷 美千子	飯南町立頓原小学校 事務リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・H23～27年度の5年間、島根県公立小中学校事務職員研究会研修部長として、新規採用事務職員の研修プログラムを策定するなど、学校事務職員の研修制度の確立に大きく貢献した。
さ さ き こう ぞう 佐々木 浩 三	島根県立平田高等学校 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・H20年度から平田高校の柔道部監督を務め、毎年全国大会等に選手を出場させている。 ・特にH25～27年度までに全国高校柔道選手権大会での男子個人戦の優勝をはじめ、国際大会で男女2人の優勝者を輩出した。
ふく やま ゆう こ 福 山 祐 子	出雲市立塩冶小学校 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導が必要な児童生徒に対する受入体制、指導方法の開発、保護者に対する支援等に積極的に取り組んでいる。 ・自校のみならず、近隣の学校に対しても指導的な立場にあり、当該児童生徒に対する教育の推進に大きく貢献している。
む とう たつ き 武 藤 立 樹	島根県立松江北高等学校 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的な法教育の研究・実践を行っている。 ・勤務校のみならず、小中学校をはじめ、松江地裁や大学などの関係機関と連携するなど、地域、県の法教育の推進に大きく貢献している。
よし むら ふ み こ 吉 村 二三子	飯南町立頓原中学校 養護教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・研究大会で積極的に情報発信するなど、県内養護教諭の資質向上に熱心に取り組んだ。 ・地域の指導的立場にあり、豊富な経験と卓越した指導力で、後進の模範となっている。

氏 名	所属・職	表 彰 の 理 由
うえ だ あゆみ 上 田 亜由美	島根県立松江養護学校 教諭（新体操担当）	<ul style="list-style-type: none"> 今夏、中国ブロックで開催された平成28年度全国高等学校総合体育大会において、会場地実行委員会に派遣され、競技施設・用具等の整備計画や競技・運営役員等の編成など競技種目別大会における準備・運営の中心的な役割を果たし、大会成功の原動力となった。 高校生活動の各地区推進委員会と連携し「すべての高校生が輝く」大会づくりに大きく貢献した。
まし えい じ 岸 英 治	島根県立浜田高等学校（定通） 教諭（体操競技担当）	
しょう じ とし ろう 庄 司 俊 朗	松江市立女子高等学校 教諭（テニス担当）	
たく わ つよし 宅 和 剛	島根県立平田高等学校 教諭（柔道担当）	
なか むら みち や 中 村 伯 也	島根県立松江東高等学校 教諭（ボート担当）	

（注）上記の掲載順は、五十音順による。

（表彰理由が同じ場合は、その者の中で五十音順による。）